



平成 18 年 2 月 10 日

会 社 名 日本開閉器工業株式会社 (JASDAQ・コード番号: 6943)
(URL <http://www.nikkai.co.jp/>)
代表者 役職名 代表取締役社長
氏 名 大 橋 智 成
問い合わせ先 責任者役職名 取締役管理部長
氏 名 赤 池 秀 樹 (Tel:(044)813-8026)

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高(又はこれに相当する事項)の会計処理の : 無
方法の最近連結会計年度における認識の方法
との相違の有無

2. 平成 18 年 3 月期第 3 四半期業績の概況 (平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 12 月 31 日)

(1) 売上高 (単位:百万円未満切捨)

	百万円	%
平成 18 年 3 月期第 3 四半期	6,041	(△2.6)
平成 17 年 3 月期第 3 四半期	6,205	(14.6)
(参考) 平成 17 年 3 月期	8,066	(9.9)

1. 売上高 は、当該四半期までの累計値であります。
2. パーセント表示は、前年同四半期比増減率を示しております。
3. 売上高の数値は、監査法人による監査は受けておりません。

[売上高に関する補足説明]

わが国の景気については一般的には明るさが見えるというものの、当社グループの属する産業用スイッチ市場ではまだその力強さが感じられず、当第 3 四半期連結会計期間の連結売上高は 60 億 41 百万円と前年同期比 2.6%減となりました。しかしながら四半期ベースで前年同期を比較しますとプラスに転じてきており、緩やかながら回復基調を示しております。

このような状況下で当社グループは、2005 年 7 月に世界ナンバーワンのグローバル・

ディストリビューターである米国アロー社と世界統括販売契約を締結し世界においても販売体制を拡充する一方、今後の新市場として注目されている中国においても現地代理店網の拡大(18社 119拠点)を図っております。また、重点商品として位置づけている「インテリジェント・スイッチ (IS)」が業界最有力専門誌に特集記事として掲載され市場で非常に大きな反響を呼んでおり、売上も急成長しております。

今後とも当社グループは、ターゲット市場および重点商品に的を絞った集中的かつ一体となった積極的な企業活動を展開していくとともに、中期経営計画「Quantum Leap 21」を着実に推進し、通期売上高目標の達成に努力してまいります。

3. 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象
該当事項はありません。

4. 平成 18 年 3 月期の連結業績予想(平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	一株当たり 予想当期純利益
通 期	百万円 8,850	百万円 1,080	百万円 620	円 銭 75 19

※ 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

[業績予想に関する定性的情報等]

当該第 3 四半期の業績は概ね計画どおりに推移している事から、平成 17 年 11 月 28 日付の中間決算短信発表時に公表しました内容から変更いたしておりません。

5. 現在推進している中期経営計画「Quantum Leap 21」に基づき現在グローバル IT システムの構築中のため、財務情報については平成 19 年 3 月期第 1 四半期より発表いたします。

以上